

川南町立中学校統合整備基本計画

川南町教育委員会では、平成30年、学校規模適正化審議会に中学校の統合について諮問し、平成31年3月に「よりよい教育環境としては、一定数の生徒数が確保されていること、教員の経験年数や教科担任、男女比などのバランスのとれた教員の確保が望ましいことから、両中学校の統廃合はやむを得ない」との答申を得た。

それを受けて、令和元年6月の教育委員会定例会において、中学校の統合について全会一致で可決され、令和3年8月の学校規模適正化審議会での「新しい時代に対応した川南町の中学校統合のあり方」（答申）をもとに、同年9月に「川南町立中学校の統合に係る基本方針」を策定した。同年12月には町議会において「中学校統合整備基本計画」が可決された。そして、教育委員会では、令和4年6月に中学校設立推進委員会を設置し、令和8年4月の新中学校の開校に向け準備を進めていた。

しかし、令和5年6月、町議会において「中学校統合整備基本計画の廃止」が可決された。その後、令和5年12月の中学校統合の意見聴収を目的とした地区座談会において、中学校の統合を早期に望む声が多数挙がったため、町民の意向を確認する目的で、令和6年12月に町内在住の18歳以上の住民に対して「川南町立中学校統合に関するアンケート調査」を実施した。

教育委員会では、「川南町立中学校統合に関するアンケート調査」の結果等をもとに協議を重ねてきた結果、本町の中学校の現状や将来を考えた場合、やはり「中学校の統合は早急に進めるべきである」という判断に至った。そこで、再度「川南町立中学校の統合に係る基本方針」（令和7年5月）を策定した。

基本方針では、「中学校については、生徒数の減少に伴う学校規模の適正化、教育の質や教育環境の充実等の観点から、唐瀬原中学校と国光原中学校を統合して新中学校を整備し、子どもたちにとってのよりよい教育環境づくりを早急に進める必要がある。その際、既存の中学校の敷地を活用して新中学校を整備するより、町中央部に新中学校を新規整備する方が、子どもたちによりよい教育環境を提供することが期待できる。以上のことから、中学校については、唐瀬原中学校と国光原中学校を統合し、町中央部に新中学校を新規整備する。」と述べている。

令和7年11月の教育委員会定例会において、新中学校の設置場所として基本方針に示している「町中央部」については、「川南町文化ホール図書館複合施設周辺の町有地」とすることが全会一致により可決された。

このような流れを踏まえ、町としては、令和13年度から町内の2校を統合し、新中学校を開校する計画である。

項 目	内 容 等
目 指 す 学 校 像	○ 川南町の豊かな地域資源を活かし、地域社会と連携しながら未来を創造する生徒を育む学校 ○ 生徒一人一人の個性と才能を尊重し、誰もが行きたくなるような魅力のある学校
目 指 す 生 徒 像	○ 自分の個性や強みを理解し、主体的に行動できる生徒 ○ 他者の意見を尊重し、協力しながら課題解決に取り組むことができる生徒 ○ 変化の激しい社会を生き抜くための創造性と探究心をもつ生徒 ○ ふるさと川南への愛着と誇りをもち、主体的に地域課題の解決を図ろうとする生徒
基 本 コ ン セ プ ト	(1) 地域とともにある学校づくり (2) 活力ある学校環境づくり (3) 全ての生徒にとって過ごしやすい安心な学校環境づくり (4) 学力向上の充実を図る教育環境づくり (5) 多様化する社会に対応する学習環境づくり (6) 健全な心身を育む部活動・地域クラブが展開できる環境づくり (7) 安全に通学できる地域環境づくり
整 備 方 針	(1) 学びを保障し、活動しやすい快適な施設 (2) 安全・環境・防災に配慮した施設 (3) 地域に開かれた施設
新中学校の設置場所	川南町文化ホール図書館複合施設周辺の町有地
開 校 時 期	令和13年度
計 画 の 内 容	唐瀬原中学校と国光原中学校を新中学校に統合する。 令和7年度から令和12年度までの計画 基本計画、基本設計、実施設計、建設工事

令和7年12月

川 南 町